

環境経営工学

—特別講義VI(1単位、3~4年次)—

日程 2008年8月12日(火)~13日(水) 2~5限

場所 工1-221教室

学習内容

地球環境リスクの測定評価手法、地球温暖化防止対策としての省エネルギー・ESCO事業、持続可能な社会作りの大学、市民、企業、行政の関わり、環境経営システムとしてのEA21などについて学びます。

講師 古家 克彦 (財)沖縄県環境センター・部長
友寄 英昌 (株)設備計画・代表取締役
上原 辰夫 (有)沖縄環境経済研究所・取締役社長
名嘉 光男 (株)地域技術研究所・代表取締役

授業計画

8月12日 第1回 環境影響評価(環境への負荷要因、影響等)(古家)
第2回 環境影響負荷の定量的な測定、把握、評価(古家)
第3回 事業所における省エネルギー事例(友寄)
第4回 ESCO事業の事例(友寄)

8月13日 第5回 環境経営システム概論(上原)
第6回 環境経営システム概論(上原)
第7回 大学におけるエコアクション21(EA21)概論(名嘉)
第8回 大学におけるエコアクション21(EA21)の取組(名嘉)

※以上の計画は、学生の理解度に応じて変更することもあります。

受講希望者は、機械システム工学科2号館事務室(T2-236)の名簿にて登録して下さい(8月8日(金)まで)。

取りまとめ担当:機械システム 大城(1-206室、内8625、oshiro@mibai.tec.u-ryukyu.ac.jp)

◎本講義は、琉球大学機械工学科同窓会 設立50周年記念事業の一環として支援されています。